

## 特集

## 世界に広がる三菱地所グループの

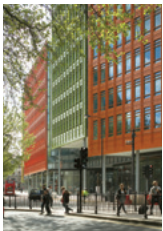
グローバルに事業を展開する三菱地所グループ。1974年のMitsubishi Estate New York設立以来、築いてきた実績と幅広いネットワークを活かして、米国や英国、そしてアジア地域での不動産開発・賃貸事業を展開する一方、世界のさまざまな場所で、地域の皆さまとともに社会・環境に配慮したまちづくりに取り組んでいます。

## 英国

## 新規物件の環境認証取得

英国・ロンドンでは、三菱地所ロンドン社を通して、金融街シティにおける複合施設の開発事業「パタノスタースクエア再開発プロジェクト」をはじめ、三菱商事(株)との共同事業である「ボウベルズ・ハウス再開発プロジェクト」、ウェストエンド地区においてオフィス・商業店舗・住宅からなる「セントラル・セント・ジャイルズ再開発プロジェクト」に参画してきました。また、現在は7棟のオフィスビルを所有しており、オフィスビルを中心に積極的投資を続けています。新規物件の開発にあたっては、英国の環境評価制度BREEAM<sup>(※)</sup>の認証取得に積極的に取り組んでいます。

(※)BREEAM:英国建築研究所による建造物の環境性能評価システム

認証取得プロジェクト BREEAM<sup>®</sup>

Excellent

## セントラル・セント・ジャイルズ/ロンドン

英国大手生命保険会社リーガル&ジェネラル社との共同事業で、延床面積約66,000m<sup>2</sup>、オフィス・店舗棟および住宅棟から構成される複合再開発プロジェクト。2010年4月竣工。BREEAM認証制度において、申請時の最高ランク「Excellent」を取得しています。



Excellent

## 8フィンズベリー・サーカス/ロンドン

1987年竣工のオフィスビルの建て替えプロジェクト。BREEAM認証制度において、申請時の最高ランク「Excellent」の取得を予定しています。

## 地域・社会とともに

## 小学校の環境改善

三菱地所が英国保険会社Legal & General社と共同で開発したセントラル・セント・ジャイルズでは、地域貢献の一環として近隣の小学校であるSt. Joseph's Primary Schoolの学校評価を向上させるべく、パートナーシップを組んで学校の改善に取り組んでいます。また、生徒による合唱を披露する場としてセントラル・セント・ジャイルズのロビーを提供したり、ビル入居テナントへも積極的に同校への協力を呼びかけ、テナント室内での体験学習や本の読み聞かせの場を提供しています。その他、隣接する教会の庭園の整備資金の提供など、多岐にわたるプログラムで地域貢献に取り組んでいます。



## アジア

## 発展するアジアで環境と調和したまちづくり

アジアでは、2008年にMitsubishi Estate Asia社を設立。現在はシンガポール、ベトナム、タイで、オフィス・住宅の開発事業を行っています。開発物件では、GreenMark認証<sup>(※)</sup>を積極的に取得しています。

また2013年に三菱地所(上海)投資諮詢有限公司を設立し、上海・蘇州・成都での分譲マンション事業や、アウトレットモール「瀋陽パークアウトレット」などの開発を手掛け、環境と調和した高価値なまちづくりを進めています。

(※)GreenMark:シンガポール建築・建設局が運用する、建築物の環境性能評価制度。

# まちづくり

## 米国

### 環境への配慮で不動産の価値を高める

米国では、ロックフェラーグループ社(RGI)を中心に、さまざまな事業を行っています。ニューヨーク・マンハッタンをはじめとする各地域で大規模オフィスビルを所有・運営するほか、全米10州において約30の開発プロジェクトを推進中で、オフィス・物流施設・住宅など多岐にわたる事業を展開しています。環境面では、新規開発物件・既存保有ビルにおいて環境性能評価LEED認証<sup>(※)</sup>取得とランクアップをめざすなど、環境への配慮で不動産の価値を高めることにも取り組んでいます。

(※)LEED認証:米国グリーンビルディング協会による建造物の環境性能評価システム

#### ● 三菱地所グループ・主なプロジェクト所在地

|           |             |
|-----------|-------------|
| 海外のグループ会社 | 5社          |
| 所有するビルの数  | 14棟         |
| 開発プロジェクト  | 41件         |
|           | (2014年3月現在) |



## 認証取得プロジェクト



Platinum

### キャピタグリーン／シンガポール

三菱地所アジア社とキャピタランド・グループが共同開発するオフィスビル。伊東豊雄建築設計事務所による設計。



Gold plus

### スカイ・ハビタット／シンガポール

三菱地所アジア社とキャピタランド・グループが共同開発する分譲住宅。

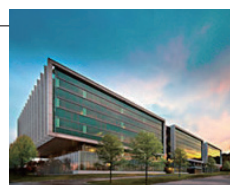
## 認証取得プロジェクト



Silver

### タイムライフビル／ニューヨーク

マンハッタン地区で1959年竣工。環境配慮に優れたビルとして、2011年にLEED認証でSilverの評価を獲得しています。



Platinum

### フローハムパーク／ニュージャージー

オフィス、ホテル、商業施設、住宅等からなる大規模開発。フローハムパークのBASF本社ビルはLEED認証でDouble Platinum評価を獲得し、北米で最もサステナブルなオフィスプロジェクトの一つに選ばれています。

## 地域・社会とともに

### 社員主導のボランティア活動

米国ロックフェラーグループ社は、地域社会とともに歩んできた企業として、社員のボランティア活動を積極的に支援し、毎年多くの社員が有志で社会貢献活動に参加しています。HIV等の重い疾患を抱えた人々に食糧を支援する“God's Love We Deliver Program”、養護施設の子どもたちへのクリスマスギフトとしておもちゃを寄贈する“Toy Joy”、ホームレスシェルターにいる子どもたちに文房具などを贈る“Backpack Program”などのプログラムへの参加を通して、米国におけるさまざまな社会課題に対して貢献しています。



## 環境とともに

### ユニークな先進技術で自然との調和を図る

アジアの国々では経済発展が進む一方で、それに伴う公害や森林破壊など、さまざまな社会問題を抱えています。三菱地所グループが手掛ける開発事業では、人々の利便性の向上と環境保全を両立すべく、さまざまな環境配慮を行っています。三菱地所アジア社がキャピタランド・グループと共同で開発中のオフィスビル「キャピタグリーン」は、全フロアに緑のスペースを設け、ビル外観の55%を植物の緑が包むデザインが特徴的な最新の環境配慮型のビル。上空の低温な空気を中央部分の空洞(ボイド)から取り込み、各フロアへと循環させる「クール・ボイド」を採用するなど、先進的かつユニークな技術で、自然環境との調和を図っています。

